



民俗芸能事業補助金について

1 補助金額について

○市補助額	2,400千円
○主催者	1,133千円
○事業費総額	3,533千円

2 民俗芸能事業検討の背景

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さくらまつり、芸能まつりなど大型イベントや年中行事の中止、伝承活動の自粛による【民俗芸能の活動の場、鑑賞の場が皆無】
- 芸能ファンなどから、どんな形でも鑑賞する機会を実施できないか、激励などもあり
- ↓
- 北上市民俗芸能協会が主体的に、感染防止と共に発表の場、鑑賞の場の可能性を検討してきた(R2.5月下旬～)

3 コロナ禍における民俗芸能事業の必要性・緊急性

- 【豊かな市民生活の一助として】
- 自粛は、文化やスポーツの薫りなど生活の潤いや楽しみを削ぎ落しているが、人は、衣食住、必要最低限の行動だけで日々を過ごすには限界がある。
- 文化芸術は、息詰まる日々の中で、その先の「夢と希望、そして感動」を与える不変の力を持っている。
- 恒例行事等の中止は、関連業者のみならず、心待ちにしている市民の感情、まちのにぎわいなど影響は多岐にわたる。
- 市民の気持ちを自粛、縮小感から、社会経済活動の再開を促し、日常の変わらない豊かさへと誘うには、文化芸術に触れる機会の創出も必要である。
- 【民俗芸能団体の伝承の一助として】
- 民俗芸能はシビックプライドである無形の歴史的文化的財産。活動の多くは小規模団体、指導者等個人の力に頼るなど活動基盤が弱く、活動機会の減少は団体の衰退につながることから、伝承を披露する場は必要である。
- 等々、新しい生活様式の下で祭りやイベントはどういう形でならできののかを実証していく上でも、3密対策をしっかりと講じた上で、まちの活気につながるイベントを支援する必要がある。

4 事業企画書(案)…北上市民俗芸能協会

- 事業名 民俗芸能による祈りと絆の舞
～まず演るべ！コロナに負けねぞ！～
- 主催 北上市民俗芸能協会
後援(予定) 北上市、北上市観光コンベンション協会
協力(予定) 北上・みちのく芸能まつり実行委員会
- 期日 令和2年9月12日(土)～13日(日)
- 会場 さくらホール
・12日(土) 10時～18時 中ホール
・13日(日) 10時～18時 大ホール・中ホール
- 内容 (1)出演は民俗芸能協会加盟64団体を基本として、加盟以外の団体、後継者育成団体の出演も検討
(2)入場料は無料とする
- 事業費 3,533千円
 - 人件費 167千円…当日バイト等
 - 報償費 2,280千円…出演団体謝礼
 - 使用料 460千円…さくらホール使用料
 - 通信運搬 20千円
 - 印刷製本 180千円…ポスター、チラシ、パンフ
 - 消耗品 23千円
 - 委託費 255千円…映像、写真記録等
 - 手数料 50千円

5 感染防止予防策(案)

- 【観客】
- 鑑賞は市民とする。
- 収納人員の50%以下とする。
- 入場整理券等に氏名等を記入させ、所在の把握に努める。
- マスク着用
- 入場口…検温、体調不良確認、手指の消毒。
- 【出演団体】
- 検温、体調不良の確認、手指等の消毒。
- 接触機会の減少…着替えは自宅で済ませる。
- 舞台演出はなし…地明かりのみ。舞台セットはなし。